

## 事務局日誌抄

\* 7月24日(日)

令和4年度「山中健児の碑」清掃(報告)



令和4年度の「山中健児の碑」の清掃を行いました。

「山中健児の碑」は、山口県庁と山口駅を結ぶパークロード沿いの山口県立図書館入り口付近にあります。山高の前身の山口中学校跡地に立つ記念碑で、岸信介先輩の書とのことです。

この日は猛暑を避けようと朝7時に集合しました。朝早い時間帯ということで、これまで夕方の打ち合わせには出席できなかったメンバーや、総会当日は集まらないメンバーの参加もあり、総勢25名での清掃作業となりました。

初顔合わせのメンバーからは「皆が頑張っているの、自分も少しでも同窓会のお手伝いをしたかった」という言葉があり、改めて同期の絆とありがたさを感じました。



草引きや記念碑を磨きながら、高校生時代の思い出と近況を語り合い、有意義な同窓会行事となりました。

総務部会長 三木 正之

\* 8月13日(土)

令和4年度山高同窓会ゴルフ大会報告

令和4年度の同窓会ゴルフ大会は、8月13日(土)に宇部72カントリークラブにおいて、A組は万年池西コース、B組は阿知須コースで開催されました。

コロナ禍で3年ぶりの開催となった同窓会ゴルフ大会は、最高気温34度を超える猛暑に加えて、途中雷雨による約30分間の中断を挟むなど、山高魂を試されるようなコンディションでのプレーとなりました。また、阿知須コースは他の大会競技前ということで、グリーンの上上がりが非常に良く、パターの腕前を試される固く速いグリーンコンディションとなっております。

今年の参加人数は123名、最年長の方は89歳、80歳以上の方は14名、女性の方も5名御参加いただきました。同期のパーティーで参加される先輩方や東北地方や関東地方の遠方からご参加いただきました諸先輩方などに受付で「幹事、大変だったね。」「開催してくれてありがとう。」など、お声掛けを頂き、同窓会コンペの伝統が醸し出す雰囲気、当番幹事として胸を熱くしながら、皆様をティグラウンドに送り出しました。

さて、大会については、両コースとも、早朝にもかかわらず、暑さを感じながら、練習グリーンでの入念な確認や練習場での打込み、仲間との久々の談笑など、思い思いの準備を経て、7時28分第1組のスタートで幕が開きました。

各コースのスタートホールでは、恒例となっている各組メンバーでの記念写真撮影を行なった後、和気あいあいとティーオフをされ、どの組からもゴルフを楽しむ雰囲気が感じられました。

もう一つの恒例となっている12番のニアピンホールでは、クラブを持つ手に思わず力が入りながら、ピンフラッグを狙いました渾身のショットなど、打球の行方に一喜一憂し、盛り上がりを見せておりました。

午後2時過ぎには、突然の落雷に驚き、前が見えなくなるほどの雨が降り、30分間程度の中断を挟みましたが無事に終了することが出来ました。

クラブハウスから先輩達を眺めていると、旧友と懐かしみながら近況を語り合っている方、同期のゴルフ仲間とワイワイとしている方など、「ゴルフ」を通じて、気持ちは山高生の時と変わらず、青春時代の若々しさそのままに、この大会を楽しんでおられ、「同窓会ゴルフ」を脈々と受け継がれてきた意義を体感させて頂き、これからも

もっと盛り上げていかなければと意を新たに、思わず背筋をピンとする自分が居ました。

競技終了後に毎年行っていたクラブハウスでの表彰式は、今回は飲食を伴うことから中止し、翌日の総会の中で各優勝の3名にご出席いただき、58期の木原キャプテンより安倍晋三杯などの贈呈を行い、例年とは一味違った厳かな形になりましたが、ゴルフ大会の披露の場にもなり、有意義な時間を総会に御出席頂いた皆様と共有できたものと感じました。

今年の総合優勝は82期 古谷卓三さんで、グロス73。A組優勝は、81期 桧松康登さん、B組優勝は、91期 溝部敏章さんでした。優勝者の御三方にも、総会行事に御出席いただき、総会の雰囲気、皆で応援歌第二号の熱球を御唱和いただき、来年もこの場に立つために努力をしようと決意を新たにされたことと推察いたしました。

こうして、皆様が熱い想いで球を飛ばし、転がしてプレー中の雷雨にも、2年間開催を阻まれた新型コロナウイルスにも負けず、3年分の盛り上がりを見せた令和4年度のゴルフ大会が幕を閉じました。

優勝並びに入賞された皆様、おめでとうございます。そして、参加された皆様、準備に携わっていただいた皆様、本当にお疲れ様でした。



## 優 勝

82期 古谷 卓三

<A組 万年池西コース>

優 勝 81期 楠松 康登

準優勝 68期 佐藤 博之

<B組 阿知須コース>

優 勝 91期 溝部 敏章

準優勝 94期 岸田 篤

## ニアピン賞

<A組 万年池西コース>

76期 栗林 寛二 3m32cm

67期 原 健太郎 3m48cm

<B組 阿知須コース>

89期 加藤 崇亨 3m48cm

81期 重枝 渉 7m17cm

## ベストグロス賞

<A組 万年池西コース>

82期 古谷 卓三 グロス73

<B組 阿知須コース>

87期 野村 浩司 グロス82

最後に、今年はコロナ禍での開催であったため、開催していいのか、最終判断はいつするのかなど、参加者募集前から悩みは尽きませんでした。5月のゴールデンウィーク明けにコロナウイルス感染症の感染者の数が増加傾向になかったため、当日の表彰式は非開催、なるべくお知り合いでの参加申込として、開催に踏み切りました。そして、大会の直前で、県内の感染者数が過去最大になるという、更なる悩ましい状況が発生しましたが、「開催するために考え準備しよう」という意思を初志貫徹し、開催することができました。

稚拙な運営や準備不足等があったと思いますが、山高愛とスポーツマンシップのもとに、本大会を盛り上げて頂いた参加者の皆様には心から敬意を表しますとともに、改めまして厚く御礼申し上げます。

令和4年度同窓会スローガンは「熱球の絆

つなげ 新たな時代へ」でした。この「つなげ」というフレーズは「開催できなかった2年間分の先輩の想いも一緒につなげて」という意味を込めておりました。

山高同窓生の誇りを先輩から受け継ぎ、次の新たな時代へ途切れることなくつないでいく重みを感じながら、大会運営に携われたことを光栄に感じ、本大会が益々発展していくことを願ってやみません。

また、運営に御協力いただいた宇部72クラブリーグ支配人の白石様をはじめ職員の方々、お手伝いいただいた当番期である96期、111期、120期の皆さん、ゴルフ部会の皆さん、そして、大会の準備から事後まで、的確な事務を遂行いただいた準備委員会事務局に感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

ゴルフ部会長 徳永 将

## \* 8月14日(日)

### 令和4年度山口高校同窓会総会報告

令和4年度山口高校同窓会総会は、コロナ第7波の影響もありながらも3年ぶりに8月14日(日)に山口市湯田温泉のホテルニュータナカにて開催されました。



今年度の同窓会総会のスローガンは「熱球の絆 つなげ 新たな時代へ」を掲げました。コロナ禍により同窓会総会も2年連続で中止となり、改めて人と人の関わり大切さを再認識した今こそ、同窓の絆を深め、新たな時代へ向けて出発するという想いを込めて、このスローガンを掲げま

した。

今年度の当番期は96期・111期・120期です。当番期スタッフは前日準備から始まり、当日は総勢約100名が会場に集まり、96期の高校時代のシンボルカラーであったオレンジ色のロゴの入った黒のTシャツを全員が着用し、ご来賓や会員の方をお迎えしました。記念グッズとしてこのTシャツの他にフェイスタオルとエコバッグも作成し販売を行いました。



コロナ感染対策として今年度の総会参加は、事前登録制200名の定員制とさせていただきました。受付では来場者の登録の確認や検温を行いました。

本来なら当日は同窓会総会とレセプション（懇親会）のセット開催となるはずですが、コロナ第7波の影響で数日前に会食の中止を決め、レセプションの一部を総会に組み込みました。

今年度も司会は92期の吉永達哉さんをお願いし、午前11時30分に末永汎本副会長（64期）の開会宣言により総会が開会しました。

物故会員への黙祷を捧げた後、村上裕之準備委員長が歓迎の挨拶を申し上げ、続いて二井関成同窓会長からご挨拶をいただきました。二井会長は、3年ぶりの開催にあたり前々当番期の94期と前当番期95期の労をねぎらわれました。そして先に行われた山口高校の150周年事業の紹介をいただきました。



続いて同窓会員を代表して伊藤和貴山口市長、杉山昌史名誉会長（山口高校校長）からそれぞれご挨拶をいただきました。



次に村上準備委員長を議長に同窓会総会の議事が執り行われました。令和3年度会務・会計報告、令和4年度事業計画・予算案、令和4年度役員選出案について、同窓会事務局長の市原先生より説明の後、審議され、いずれも承認されました。



続いて恩師の先生方にご登壇いただきましたのは、第38代校長の栗林正和先生・第39代校長の木村香織先生・千住昂之先生・久芳善人先生です。当番期を代表して96期の女性たちが花束を贈呈した後、恩師を代表して久芳善人先生からご挨拶をいただきました。

続いては前日に行われたゴルフ大会の表彰式です。本来ならゴルフ大会当日に行う表彰式ですが、こちらもコロナの影響でゴルフ大会当日の表彰式は中止となり、総会で行う運びとなりました。プレゼンターの宇部72カントリークラブのキャプテン木原寛様（58期）から各部門の優勝者3名にトロフィーと賞品を授与していただきました。



そして次は新旧当番期の引き継ぎ式です。96期の村上裕之準備委員長から97期の横岡摂樹次期準備委員長に準備委員会事務局の「看板」を、111期代表の相川さんから112期代表の橋本さんに気合いを入れるための「竹刀」を、120期代表の永見さんから121期代表の上玉利さんに同窓会準備のストレスを吹き飛ばす「胃薬とファイト一発りポD」を引き継ぎました。そして横岡次期準備委員長より、来年度の同窓会総会の開催に向けて力強い決意表明がありました。



いよいよ同窓会も終盤に近づきました。ここで本来なら恒例となっている優勝歌・応援歌の大合唱ですが、感染対策の中、応援歌第2号「熱球」のみの斉唱となりました。今年度も平田応援団長（76期）に先導をいただき、二井会長と平田団長・村上委員長の3名のみ学生服姿で登壇し、会場では全員で「熱球」を斉唱しました。マスク着用での斉唱でしたが、やはり参加者全員が一体となる感覚を得たのではないかと思います。

盛り上がったところで最後のプログラム、今村孝子副会長（75期）の発声で一丁締めを行い、コロナ禍で大幅に変更を余儀なくされましたが、3年ぶりに開催された総会が無事終了しました。参加者の皆様にはお弁当をお配りし、散会となりました。



この度の準備委員会の活動を振り返りますと、コロナ禍により2年間中止を余儀なくされている同窓会総会を絶対に開催するという決断から始まりました。1年以上先のコロナの状況を予想して準備するのは本当に大変な作業でしたが、当番期のみんなが知恵を出し合い、最悪の状況も想定しながら準備を進めました。準備委員会も感染対策により、当初なかなか同期の輪を拡げる事が出来ませんでした。但し、応援券（旧賛助券）販売や広告協賛を募る中で徐々に輪が拡がり、販売目標額もクリアする事が出来ました。在学中は顔も知らない同期や世代を超えて諸先輩方と同窓会準備に当たり交流を持てたことは、当番期にとってかけが

えのない経験と喜びをいただきました。改めてこうした機会をいただいた山口高校同窓会に感謝の気持ちでいっぱいです。



最後に、同窓会役員と同窓会事務局の皆様、各支部総会に参加した折や同窓会準備の際に助言や激励の言葉を下さった諸先輩方並びに関係者の方々、全国各地の当番期の仲間、準備委員会事務局を支えて下さった中野さん、吉岡さん、全ての皆様に心から感謝申し上げ、令和4年度山口高校同窓会総会の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

準備委員長 村上 裕之

\* 8月14日(日)

### 令和4年度「動員学徒犠牲者追悼式」

53、54期同期生の方々からの申し出もあり、今年度の追悼式は中止となった。来年度以降の式の実施については、引き続き協議することとなった。

二井会長と末永副会長が同窓会を代表して、こ

の日の朝、平和の母子像に献花を行った。

今の山高生達にかつてあったことを伝え、平和の大切さを世代を越えて伝承していく責任を、改めて強く感じている。

**\* 2月27日(月)**

## 令和4年度「記念品贈呈式」

この日、16時30分から山口高校校長室において、令和4年度同窓会総会準備委員会（96期）による記念品贈呈式が行われた。これは毎年同窓会総会の当番期が、総会決算後の剰余金で物品を購入し、母校に寄贈しているものである。今年は同窓会総会が3年ぶりに開催されたが、なかなか新型コロナウイルス感染症が終息に至らぬ中、広告料も減り、賛助券やグッズの販売にも大変苦労があった。しかし、母校を支える同窓会会員の尽力で、例年同様、母校に対する熱い思いのこもった貴重な記念品が寄贈された。

準備委員会からは村上裕之 96期準備委員長、三木正之 総務部会長ほか4名が来校され、学校からは杉山昌史校長、谷脇昌彦事務長が、事務局から市原都子事務局長、田中眞智事務局書記が参加した。

贈呈式では村上委員長から杉山校長に目録が贈呈され、杉山校長が謝辞を述べた。



贈呈された物品は以下の通りである。

山口高校新規HP	一式
モニター付き顕微鏡	一式
冷水器	一台

記念館2階カーテン 一式

山口高校新規HPは、ドローン映像や動画がふんだんに使われた県内初の新形式のHPであり、9月4日に公開された。モニター付き顕微鏡は、理数科課題研究だけでなく、普通科でも始まる探求学習への利用が期待される。冷水器は、以前準備委員会より寄贈されたHR棟3階のものが老朽化し、ほぼ1年間使用できずにいたものが刷新された。



また、記念館カーテンについては、昨年度95期より寄贈された1階のカーテンと同様のものが、2階にも設置されることとなった。



**\* 2月28日(火)**

## 令和4年度「同窓会入会式」

今年も新たに本校全日制普通科・理数科289名（129期）、徳佐分校9名（13期）、通信制普通科148名うち前期9名（67期）、定時制8名（73期）が入会することとなった。

全日制の令和4年度山口高等学校同窓会入会式は、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、定時制、分校のみ例年と同様に実施された。

定時制では丹下延彦さんが卒業生代表として入会記念品の文鎮を受け取った。記念品は賞状用の筒とともにホームルームにて、各担任より卒業生それぞれに贈呈された。

\* 4月3日(月)

**令和5年度 同窓会事務局**

年度末の人事異動で原本悦美副校長が下関北高校校長として転任となり、新たに平林徹副校長をお迎えした。また、定時制の藤元徹教頭が定年退職となり、新たに栗屋博尚教頭をお迎えした。事務局においては書記の田中眞智（101期）が同級である堀伸次（101期）と交代することとなった。その他引き続いて市原都子（86期）が事務局長を、佐々木護（110期）、古谷くるみ（82期）が書記を務め、今年度もあわせて4人で事務局を運営することとなった。

今年度も引き続き見応えのある写真で綴られた150周年記念誌・DVD、および話題となった「山高リカちゃん」を事務局にて販売しております。どうぞよろしく願いいたします。



本年度は以下の体制で事務局の運営にあたります。よろしく願い申し上げます。

**【同窓会事務局】**

事務局長：市原 都子（86期）  
書 記：堀 伸次（101期）  
佐々木 護（110期）  
古谷くるみ（82期）

山口県立山口高等学校同窓会事務局

〒753-0070 山口市白石二丁目6番34号

エスポルトコーポ山高前2-1号

TEL 083-921-8015 FAX 083-921-8016

山高同窓会ホームページ

<http://www.yamako.gr.jp/>

※電話によるお問い合わせは、月・水・金曜日の午前9時30分～午後4時00分の間をお願いします。

\* 5月19日(金)

**令和5年度 同窓会幹事会**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていた幹事会が、昨年は3年振りに開催されたが、さらに今年は、その後におこなわれていた懇親会についても再開された。出席者は昨年を更に超えて47名に上り、しばらく振りの懇親会は大いに盛り上がった。昨年度96期の村上裕之準備委員長より総会開催や広告、グッズ販売のお礼の挨拶があり、今年度97期準備委員会へと熱い意気込みが引き継がれた。各支部総会の再開に向けての動きにも感化され、大いに元気をもらった幹事会となった。

8月の同窓会総会は、また新たな形式で実施されることになりました。盛会をお祈りするとともに、皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。